

消費者モニター活用による商品開発研究会（第1報）

本庄 恵美* 中野 睦子* 石川 章弘** 篠塚 雅子*

1. はじめに

商品企画、商品開発において、生産者の主観によって生じる商品の偏りや消費者の嗜好が時代に合わない商品となっていることが少なくない。

そこで当センターでは、消費者モニターから意見や要望などの調査協力を得て、それらを既存製品のリニューアルや新規商品開発に反映し、「マーケットイン型商品開発」を目指すことを目的に本研究会を発足した。

2. 目的

消費者モニターの募集、商品の嗜好や使用感などの意見や評価を消費者モニターから得るための調査の実施、モニター調査の結果集計等を会員同士学びながら実施することで、自社製品に対し、客観性や新規発想を取り入れた改良や開発に繋げることを目的に実施する。

3. 研究会内容

消費者モニターを活用し、商品の嗜好や使用感などの意見を得て、客観性や新規発想を取り入れつつ改良や開発につなげるため、次のステップで段階的に進める。

第1ステップ

- ・参加企業募集

第2ステップ

- ・消費者モニターの募集及びセグメント化
本研究会の主旨を公知し、モニターを募集

第3ステップ

- ・既存品やテスト品のモニター調査
消費者モニターに製品、試作、サンプルを提示し、意見、感想などを求める。

方法は企業や製品によりケースバイケースとし、グループインタビューやサンプル発送などにより、下記情報を収集する。

- * サンプル使用感
- * イメージ図を見せての自由意見
- * 複数サンプルから好みを選択
- * 素材を見せて自由意見

第4ステップ

- ・試作、開発、商品化

本年度は第1ステップとして、本研究会に参加したい意向をもつ企業を募り、現状ある製品の課題や新しく開発する製品について意見交換を行い、対象としているターゲットの設定や調査したい内容について各社骨格をまとめた。

第1回（H25.10.09）

- ・研究会の概要、計画について

- ・事例紹介

「消費者モニター活用による製品開発事例」

- ・自己紹介、製品紹介等

第2回（H25.11.26）

- ・モニター対象製品について
（ターゲット、調査内容、調査方法など）
- ・モニター募集の方法について

3.1 実施体制

研究会の役割分担として、参加企業はモニター募集・管理、モニターの意見を活用した商品開発を実施する。当センターでは研究会の運営、消費者モニターとりまとめ・商品開発支援を担当する。

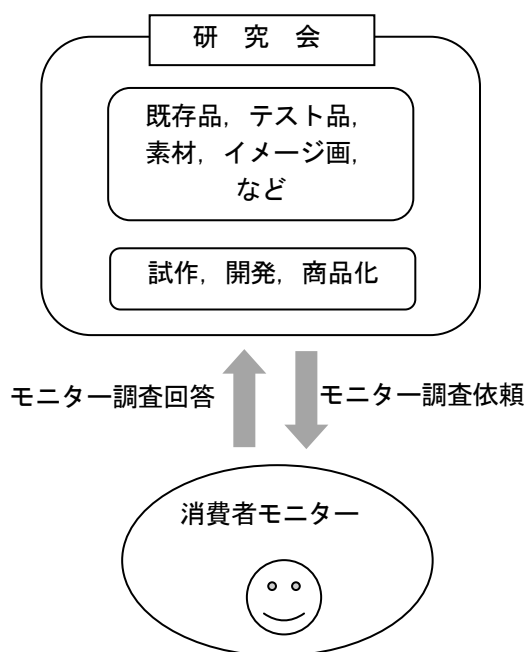


図1 研究会実施体制

3.2 モニター調査対象予定製品について

モニター調査予定製品及び調査予定内容例については次の通りである。

- (1) 踏み台昇降運動用器具【ウエスト・マウンテン】(製品)



図2 踏み台昇降運動用器具

- 製品名 : 踏み台昇降運動器具
- 調査項目 : 踏み台の高さについて
踏み台前後のアーチ形状のあるなし
ツボ刺激用突起物のあるなし 等
- 対象 : 50~70代, 男女

(2) 糸を使用したクッション【antikarium Chronicle Cushion】(製品)



図3 糸を使用したクッション

- 製品名 : 糸を使用したクッション
- 調査項目 : サイズ
価格 等
- 対象 : 女性, 高級志向

その他、次の製品・サービスについてモニター調査を実施する予定である。

- ・創業コンサルティングと会社設立支援との相乗的サービス提供 (サービス)
- ・ボディ・ウォッシュ用品【糸のミトン】(製品)
- ・自動車のシートベルトに付けて使用する保温クッション (製品)
- ・茨城県産農産物を加工したジャム及びび容器 (製品)

3.3 調査方法

研究会のホームページを立ち上げ、サイト内でモニター募集を行い、調査を実施する予定である。

調査方法は参加企業や対象製品によりケースバイケースとする。



図4 モニター募集ページ (案)



図5 調査予定製品紹介ページ (案)

3.4 想定される効果

研究会を通して、消費者目線を交えた商品開発を行うことが可能となり、その結果新製品開発、リデザインを行う際、売れる確度の高い製品開発に繋げることができる。

また、個々の企業単独ではなく、研究会として取り組むことにより、消費者目線のみならず異業種の意見や交流も得ることができるなど利点があげられる。

4. まとめ

本年度は2回の全体会合を開催し、研究会に参加したい意向をもつ企業を募った。現状ある製品の課題や新しく開発する製品について意見交換を行い、対象としているターゲットの設定や調査したい内容について各社骨格をまとめた。

また当センターからは今までに行った事例「消費者モニター活用による製品開発」等について話題提供を行った。

8企業が参加し、6テーマについてモニター調査を実施する予定である。

来年度は引き続き研究会を継続し、モニターの募集、モニターへの提示品準備 (画像, 試作品, 素材サンプル, アンケートなど)、モニター調査 (結果の回収, 集計, 解析) を実施し、最終的には設計, 試作, 開発, 商品化など、企業製品の改良に繋げていく予定である。

